

平成5年3月1日

令和4年度学校評価結果報告

墨田区立立花吾嬢の森小学校

校長 向井 一郎

1. 令和4年度学校評価結果の回答数(%)の状況 (下段は昨年度のデータです。)

回収率 67% ありがとうございました。

	令和3年度 回答家庭数 194 (%)	A	B	C	D	E
1	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	43.3	41.8	1.5	1.5	11.9
2	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	37.1	47.4	2.1	0.5	12.9
3	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	33	43.3	2.1	2.1	19.6
4	学習意欲や学習習慣の定着(含タブレット端末活用)	41.8	46.9	5.7	1.5	4.1
5	明るく楽しい学校生活	55.7	39.2	3.6	0.5	1
6	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	40.2	46.9	7.2	2.1	3.6
7	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	40.2	51	4.1	1	3.6
8	保護者会・学校公開・HP等による広報	47.4	42.3	7.7	0.5	2.1
9	道徳の時間の充実と心の教育の継続	40.2	43.3	2.1	1.5	12.9
10	支援を必要とする児童に対する適切な指導☆	45.9	27.3	1.5	0.5	24.7
11	学校公開や行事など開かれた学校づくりの努力☆	49.5	43.3	3.1	2.1	2.1
12	感染症予防への取組の努力☆	51	39.7	5.2	0.5	3.6
13	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	51	42.8	1	0	4.6

「A=よい B=おおむねよい C=一部改善が必要 D=改善が必要 E=わからない」

	令和3年度 回答家庭数 343 (%)	A	B	C	D	E
1	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	47	38	3	0	12
2	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	39	44	3	1	13
3	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	32	44	2	1	21
4	学習意欲や学習習慣の定着(含タブレット端末活用)	49	38	9	3	1
5	明るく楽しい学校生活	56	35	5	1	3
6	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	33	48	14	3	2
7	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	30	51	13	3	3
8	保護者会・学校公開・HP等による広報	49	44	3	1	3
9	道徳の時間の充実と心の教育の継続	37	45	1	1	16
10	支援を必要とする児童に対する適切な指導☆	44	32	2	1	21
11	学校公開や行事など開かれた学校づくりの努力☆	42	45	6	2	5
12	感染症予防への取組の努力☆	59	34	1	1	5
13	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	46	44	1	1	8

全体を通して

○それぞれの項目で A と B と答えた合計数が概ね 80%前後である。昨年度と傾向は変わらないが、E 評価の数値も、昨年度とあまり変化はない。まだ見えない部分が多いことが見える。

○新型コロナウイルス感染症の予防対策に重点を置いて教育活動を進めてきたが、項目 12 の結果で肯定的にとらえている声を今年度も多くいただいた。(A、B 合わせて約 90%)

○学校行事についても、開催の方法に制限があり、工夫して進めたが学校としての努力は認めていただいた。(肯定的な数値 92.8%) コロナ対策収束後も行事の実施方法は児童の安全を第一に考えつつ、児童にとって意義ある内容になるように工夫していく。

○項目 4「学習意欲や習慣の定着」についてはタブレット端末の効果的な活用に慣れ、学校、家庭での利用が増えたことで、学習意欲が高まったと考えている。(87%) 全校で 1.5%の家庭で、改善を求める声があることも事実として受け止め、タブレット端末の活用に工夫を加えていくようにする。

○【項目 5】「明るく楽しい学校生活」では、A、B 合計が 94.9% (昨年度 91%) の高評価である。児童に対しての調査結果でも「学校が楽しい」と答えた児童が 90%である。目標にも掲げている「明日が楽しみになる学校」づくりをさらに進め、開校以来続いている校風や「立吾しぐさ」を大切にされた教育活動を進める。

○項目 5 との関連として、項目 1「授業の工夫、わかりやすい指導」の項目は重要である。授業が分からない、つまらないという状況では、学校生活への意欲は高まらない。そういう視点で項目 1 の数値を見ると、85.1%の家庭が肯定的に見てくださっている。(昨年度と同じ数値) この数値がさらに上がるように校内研での研修も重ね、より良い授業づくりに努める。

○【項目 6】「あいさつ」「思いやりの心」は、本校の教育の要である。A、B 合計が 87.1% (81%) と昨年度の数値よりも上がっている。項目 9 で評価をいただいている「道徳教育」等を通して「心の教育」にさらに力を入れるようにする。

○【項目 9】「道徳の時間の充実と心の教育の継続」については、A、B 合計が 83.5%に若干上がっている。道徳授業地区公開講座の公開だけではなく、日常の道徳の時間を大事にしていきたい。どのような教育を行っているのかは、ホームページ等で公表していくようにする。

○【項目 11】開かれた学校作りは、今年度開校 15 周年を契機として、地域との結びつきを意識した人材交流、さらに、地域教材の開発などに力点を置いたことで、大幅に数値が向上している。(92.8% ←74%) 今年度つながりをもつことができた部分を軸としながら、さらに地域に開かれた学校づくりに努力する。

○【項目 10】は「特別な支援教育」の観点項目とした。A、B 合計が 73.2% (72%) であり、さらに努力が必要である。すべての子どもが、安心して、楽しく通うことのできる学校であることへの努力を継続する。幼保・小・中の連携は其中で不可欠であり、引き続き継続をする。

新年度に向けて

- 1 分かりやすい授業による学力の向上への一層の努力を継続する。
主体的に児童が学ぶ授業 地域教材の開発 「はてな」から始まる考える活動
タブレット端末・機器類の効果的な活用
- 2 心の教育の継続
保護者、地域の方々と連携して進める「個」を大切にされた教育の推進